

科目	現代の国語	学年	第1学年	開講	通年	必修	2 単位
----	-------	----	------	----	----	----	------

教科書：精選 現代の国語（明治書院）

副教材：精選 現代の国語 学習課題ノート（明治書院）新版七訂 新版総合国語便覧（第一学習社）キーワード漢字2700（浜島書店）
3ステップオリジナル問題集基礎現代文（大学入学共通テスト対策新装版）（尚文出版）

1 学習の到達目標

現代社会を生きるために必要な資質・能力を確実に培う

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期		自分の時間で読み継ぐ	・筆者の意見に対して「読みささない文章」とはどのようなものか、それを踏まえ、筆者の言う「読みさす文章」とはどのようなものか、考えてみよう。 ・論理的な文章を読み、その内容について批評する活動。	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・推論の仕方を理解し使っている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	4		○		
		「ふと」と「思わず」	・日本語を英語に翻訳する際にも訳しにくい言葉がある。筆者の主張に基づき、具体的な例をあげて説明してみよう。 ・論理的な文章を読み、その内容について批評する活動。	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増す。語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主題と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	4		○		
		わかりあえないことか	・行事のテーマ決めなどで困ったこと、苦労したことはなにか。その体験をもとに、スムーズに対話するのに必要なことをスピーチしてみよう。 ・自分の考えを明確にし、効果的な伝え方でスピーチする活動。	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・積極的に的確に伝わるよう工夫して、学習課題に沿って自分の考えを伝えようとしている。	4 5		○		
		美意識は資源である	・本文を参考に、「○は資源である。」という文章を論述してみよう。 ・論理的な文章を読み、その内容の妥当性や信頼性を吟味して、自分の考えを論述する活動。	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・積極的に情報を吟味して、学習の見直しをもって自分の考えを論述しようとしている。	5	中間	○		
		書くこと1「自分の意見を書く」	・筆者の主張に対する自分の意見を400字でまとめてみよう。 ・伝えたいことをまとめ、定められた字数で書く活動。	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときも、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・積極的に情報を吟味して、今までの学習を生かして自分の考えを論述しようとしている。	6		○		
		ビッグデータと人工知能	・「AI」と「IA」の違いを踏まえて、将来「IA」をどのように活用すべきか、本文を引用しながらまとめてみよう。 ・論理的な文章の内容を、本文を引用しながら論述する活動。	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・粘り強く要旨を把握し、学習課題に沿って自分の考えを論述しようとしている。	7		○		
前期 授業評価							期末		○

後期	・働くことの意味	<ul style="list-style-type: none"> ・『働くことの意味』がわかると、働くようになる」という筆者の考えに対して、論拠を明確にしたうえで自分の意見を出し、討論してみよう。 ・具体例を用いながら論理を展開することで、相手を納得させる活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・進んで表現を工夫して、学習の見直しをもって話し合おうとしている。 	9																	
	・話すこと・聞くこと2 「集めた情報をまとめて発表しよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の労働環境、生活環境で調べたことを参考に、日本の社会の一面について自分なりにテーマを決めて調べ、対象を設定し意見を明確にして、プレゼンテーションしてみよう。 ・集めた情報を効果的に資料にまとめ、発表する活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・粘り強く情報を整理して、今までの学習を生かして発表しようとしている。 	10																	
	・人と動物、共存の場所	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と自然の共存についてどう考えるか、本文を引用しながら自分の意見をまとめてみよう。 ・論理的な文章を引用しながら、自分の考えを構築して論述する活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・進んで表現を工夫して、学習課題に沿って自分の考えを論述しようとしている。 	10 11	中間																
	・現代社会はどこに向かうか	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を踏まえて、環境容量の拡大について具体例をあげ、調べて整理し、説明資料にまとめてみよう。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を含めるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・進んで情報を整理して、学習課題に沿って資料にまとめようとしている。 	12																	
	・対話する社会へ	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中にあげられたような、世界の平和問題について一つ取り上げ、対立する国や民族などのそれぞれの立場に立って、話し合ってみよう。 ・互いに、スピーチをしてお互いに質問したりする活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・粘り強く情報を整理して、学習課題に沿って話し合おうとしている。 	1 2	期末																
・〈普通語〉とは何か？	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉、話し言葉の特徴や役割を理解し、自分が書いたものを見直してみよう。 ・論理的な文章を引用しながら、自分の考えを構築して、定められた形式で書く活動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・推論の仕方を理解し使っている。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を含めるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確認して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ・粘り強く表現を工夫して、学習の見直しをもって自分の文章を見直すようとしている。 	3																		

後期 授業評価

3 評価の観点

【知識・技能】語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。

【思考・判断・表現】文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。

【主体的に学習に取り組む態度】情報を吟味し表現を工夫して、積極的に学習課題に沿って自分の考えを論述しようとしている。

<評価算出方法>

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 素点÷配点×100

【主体的に学習に取り組む態度】 平常点100点